

熊本大学イメージングセミナー

「MRI で見えること、わかること ― 磁気共鳴イメージングの先端技術と応用 ―」

5月13日（月）熊本大学百周年記念館

交通案内は以下の URL をご覧ください。

<http://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/faculty/faculty07.html>

12:30ー 受付

13:00ー15:10

開会の挨拶 山下康行 （熊本大学 大学院生命科学研究部）

佐藤博司 （ブルカー・バイオスピン株式会社 アプリケーション部）

「最新技術動向からみる MRI の一般化と最先端化」

豊田浩士 （情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター）

「MRI の撮像原理と RF コイル，パルス系列作成法」

市川和洋 （九州大学 先端融合医療レドックスナビ研究拠点）

「磁気共鳴生理機能イメージング法の開発」

青木伊知男 （放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター）

「高磁場 MRI による分子イメージング研究への取り組み」

吉岡芳親 （大阪大学 免疫学フロンティア研究センター）

「MRI による免疫現象の可視化」

15:10ー15:30 休憩

15:30ー17:30

松田哲也 （京都大学 大学院情報学研究科）

「磁気共鳴プローブの開発と多重共鳴 MR イメージングの可能性」

山東信介 （九州大学 稲盛フロンティア研究センター）

「超高感度生体イメージングを実現する磁気共鳴プローブ分子の精密設計」

石川誠 （大塚製薬（株）徳島研究所エネルギー代謝研究室）

「医薬品開発における MRI の応用」

松下英明 （熊本大学 大学院薬学教育部）

「脳内出血基礎研究における MRI の必要性」

岩本成人 （熊本大学 大学院薬学教育部）

「マンガン造影 MRI に基づく中枢神経障害モデルにおける炎症反応の検出」

17:30ー 総合討論

連絡先：寺沢宏明 熊本大学 大学院生命科学研究部

E-mail: terasawa@gpo.kumamoto-u.ac.jp

参加費：無料 事前登録：不要